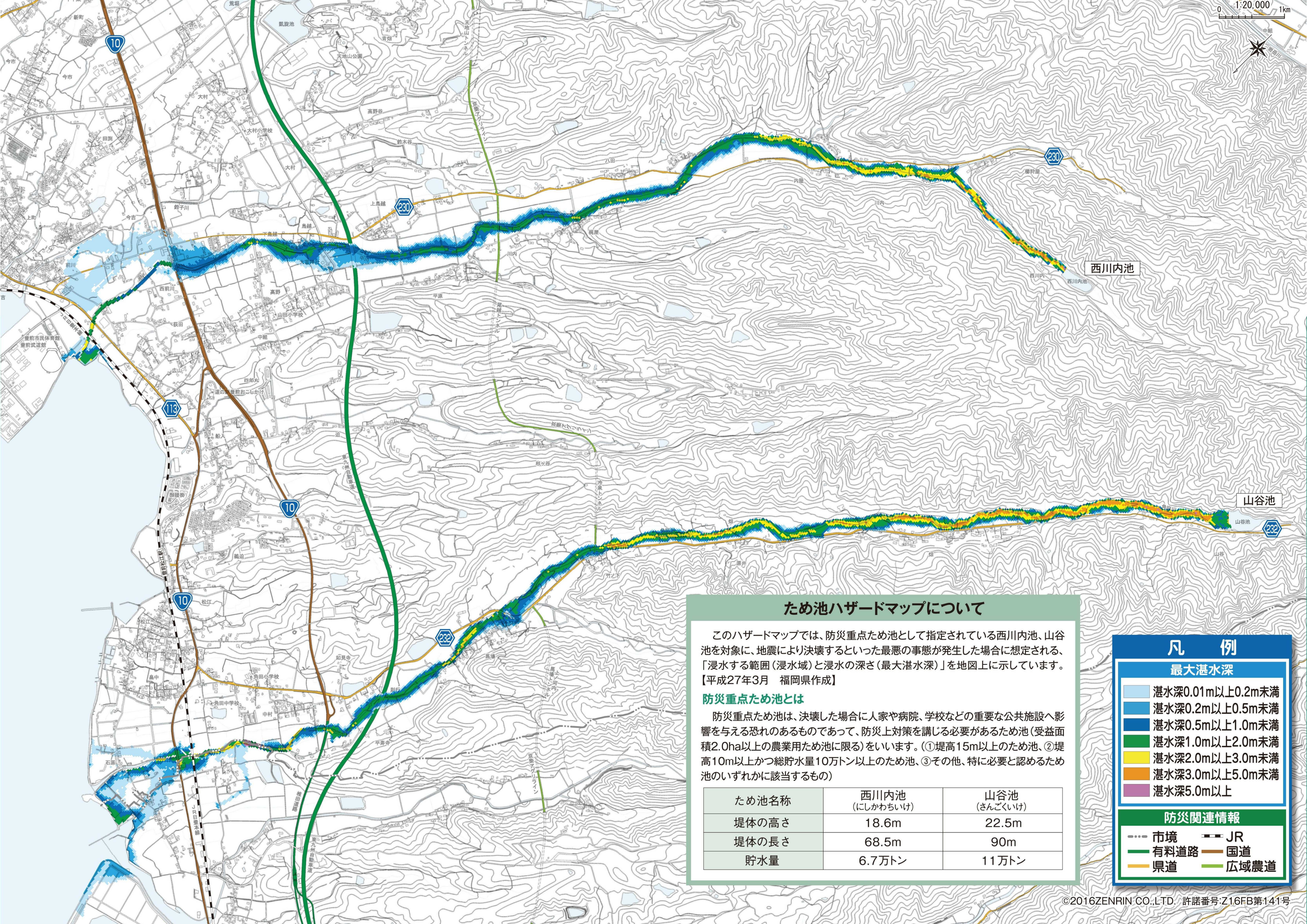




ため池ハザードマップについて

このハザードマップでは、防災重点ため池として指定されている西川内池、山谷池を対象に、地震により決壊するといった最悪の事態が発生した場合に想定される、「浸水する範囲（浸水域）」と浸水の深さ（最大湛水深）」を地図上に示しています。
【平成27年3月 福岡県作成】

防災重点ため池とは

防災重点ため池は、決壊した場合に人家や病院、学校などの重要な公共施設へ影響を与える恐れのあるものであって、防災上対策を講じる必要があるため池（受益面積2.0ha以上の農業用ため池に限る）をいいます。（①堤高15m以上のため池、②堤高10m以上かつ総貯水量10万トン以上のため池、③その他、特に必要と認めるため池のいずれかに該当するもの）

ため池名称	西川内池 (にしかわちいけ)	山谷池 (さんごくいけ)
堤体の高さ	18.6m	22.5m
堤体の長さ	68.5m	90m
貯水量	6.7万トン	11万トン

凡 例

最大湛水深

- 湛水深0.01m以上0.2m未満
- 湛水深0.2m以上0.5m未満
- 湛水深0.5m以上1.0m未満
- 湛水深1.0m以上2.0m未満
- 湛水深2.0m以上3.0m未満
- 湛水深3.0m以上5.0m未満
- 湛水深5.0m以上

防災関連情報

- 市境
- JR
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道